

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	福祉保健部長寿社会課
施策名	(1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現	課(室)長名	峰松 茂泰
事業群名	② 高齢者の社会参加と活躍促進	事業群関係課(室)	雇用労働政策課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 高齢者のスポーツや文化活動への支援をはじめ、高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、長年培った知識や経験を活かした活動等への支援を行い、高齢者の社会参加と活躍を促進します。							(取組項目) i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等 ii) 高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援 iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 平成28年に本県で開催した全国健康福祉祭ながさき大会の効果もあり、県ねんりんピックへの参加者数は、ながさき大会開催年より減少したものの、開催前より増加しており、平成30年度の目標を達成することができた。
	長崎県ねんりんピック等の参加者数		目標値①	5,900人	5,925人	5,950人	5,975人	6,000人	6,000人(R2)	
			実績値②	6,331人	5,936人	6,011人			進捗状況	
		②/①(達成率)	107%	100%	101%				順調	

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			平成30年度事業の成果等	中核事業						
				H29実績	うち一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H29目標			H29実績	達成率				
1	取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費	H3-	H30実績	0	4,023	主に60歳以上の高齢者	平成30年度事業の実施状況(令和元年度新規・補正事業は事業内容) (公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック(高齢者スポーツ大会、文化交流大会、作品展)、平成30年度全国健康福祉祭への選手派遣、すこやか長寿大学の開催、アクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	活動指標	高齢者スポーツ大会等の開催回数(回)	H29目標	9	16	177%	●事業の成果 ・平成28年に本県で開催した全国健康福祉祭ながさき大会の効果もあり、県ねんりんピックへの参加者数は、ながさき大会開催年より減少したものの、開催前より増加している。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・高齢者の参加機会の提供を通して、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会活動の振興に寄与した。	○			
				H30実績							47,295	47,295	3,986				12	15	125%
				R元計画							47,588	47,588	3,987				12		
		長寿社会課						成果指標	参加者数(人)	H29目標	5,925	5,936	100%						
										H30目標	5,950	6,011	101%						
										R元目標	5,975								
2	取組項目 ii	老人クラブ等育成事業	S38-	H29実績	34,418	805	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く)	単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会が行う、生きがいづくり、健康づくり、地域の支え合い活動等に対する助成を行った。	活動指標	事業実施単位老人クラブ数(クラブ) ※中核市を除く	H29目標	1,231	1,214	98%	●事業の成果 ・単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加が促進された。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・老人クラブ活動を通じた高齢者の生きがい作り、健康づくり及び地域の支え合いの促進に寄与した。	○			
				H30実績							65,063	32,861	798				1,214	1,202	99%
				R元計画							65,857	32,860	798				1,202		
		長寿社会課						成果指標	老人クラブ活動参加者数(人) ※中核市を除く	H29目標	63,291	62,763	99%						
										H30目標	62,763	61,030	97%						
										R元目標	61,030								

3	取組項目 ii	生涯現役促進地域連携事業費貸付金	H29-R元	10,000	0	7,972	長崎県生涯現役促進地域連携協議会	高齢者の就業・社会参加機会の拡大など高齢者の活躍促進を図るため、国の生涯現役促進地域連携事業を実施する長崎県生涯現役促進地域連携協議会に対し、事業資金の貸付を行った。	活動指標	相談窓口による新規登録者数(人)	510	164	32%	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・高齢者の方々が就業から社会参加まで幅広く気軽に相談できる窓口として「ながさき生涯現役応援センター」を開設し、個別相談や関係機関の紹介など相談者の希望に即した支援を行うとともに、高齢者向け・事業者向けセミナー、企業訪問等による求人開拓等に取り組んだことにより、前年度の達成率を大幅に上回った。一方、登録の大多数が一部地域であるなど、ワンストップ窓口である「ながさき生涯現役応援センター」の活動が本土地域、特にセンター及びサテライト周辺地域が大半であり、県下全域に広がっていない状況にあるため、新規登録者が目標を下回り、進路決定者数についても目標を達成できなかった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・指標目標値を下回っているものの、「ながさき生涯現役応援センター」の設置により、高齢者の生涯現役の推進に寄与した。 	
		長寿社会課		10,000	0	7,973			成果指標	相談窓口による進路決定者数(人)	255	46	18%		
									596						
4	取組項目 ii	元気高齢者の活躍促進事業	H30-	21,157	12,180	3,986	主に60歳以上の高齢者	高齢者の社会参加促進に向けた、機運醸成を図るため啓発・表彰、地域活動を牽引していく人材の育成、高齢者の活躍の場の情報収集や高齢者団体等への社会参加・活躍の呼びかけ・提案など地域課題の解決に高齢者の力を活かすため取組を一体的に実施した。	活動指標	啓発・表彰事業等の参加者数(人)	1,000	563	56%		<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・会場の収容数の関係もあり、活動指標の目標人数は下回ったものの、高齢者の社会参加促進に向け、啓発・表彰、活動の呼びかけなどを行ったことで、高齢者の地域活動などに参加したいという、意欲の向上に寄与した。
		長寿社会課		18,950	12,910	3,987			成果指標	社会参加意欲が向上した参加者の割合(%)	80	87	108%		
									80						
5	取組項目 iii	総合就業支援センター運営等事業	H26-	130,359	80,677	8,046	求職者	若年、中高年、女性、高齢者等の様々な求職者のニーズに応じた就職支援として、個別カウンセリングや適職診断、求職者向け各種セミナーを実施した。 高齢者については、生涯現役応援センターと共催でセミナーを実施した。	活動指標	総合就業支援センター利用者数(人)	6,700	4,440	66%	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・雇用情勢の改善により支援を必要とする求職者数が減少し、利用者数・就職者数の目標は達成できなかったが、様々な求職者のニーズに応じたワンストップサービスで県内への就業支援に寄与した。高齢者については、利用者延べ79人、就職者37人の支援実績となっている。 	
		雇用労働政策課		125,751	68,806	7,972			成果指標	総合就業支援センター利用就職者数(人)	3,640				
			130,646	69,337	7,973			2,702	1,975	73%					
6	取組項目 iii	高齢者等雇用安定対策費	—	8,803	8,803	3,218	高齢者	高齢者等の失業の防止及び再就職の促進等、雇用の安定を図った。	活動指標	高齢者雇用支援のつどいの参加者数(人)	110	79	71%		<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・県シルバー人材センター連合会への支援を行うとともに、「高齢者雇用支援のつどい」を通じた企業への普及啓発を図ることで、高齢者の多様な就業機会の提供に寄与した。
		雇用労働政策課		8,119	8,119	3,188			成果指標	65歳までの継続雇用がある企業の比率(%)	110	95	86%		
			11,078	11,078	3,189			100	98	98%					
								100	99	99%					
								100							

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等

・平成28年に本県で開催した全国健康福祉祭ながさき大会の効果もあり、県ねんりんピックへの参加者は、ながさき大会開催年より減少したものの、開催前より増加している。

(平成27年度 4,167人→平成28年度 4,852人→平成29年度 4,439人→平成30年度 4,423人)

※平成30年度 ねんりんピック等参加者数6,011人(県ねんりんピック4,423人、全国健康福祉祭162人、シニア競技普及事業1,199人、スクエアステップ運動130名、すこやか長寿大学校卒業生数97人)

・すこやか長寿大学校については、定員60名に対し受講生は101名となった。なお、より高齢者の地域活動につながるよう、平成30年度から、地域活動につながる講座を盛り込むとともに、地域活動を体験する機会をつくるなど、カリキュラムについて、高齢者の積極的な社会参加を促すため、一部見直しを行った。

・また、平成30年度は、スポーツを通じた高齢者の健康・生きがいがづくりを推進するため、シニア競技としてバウンドテニスの普及を図るための講習会を開催したほか、地域内の自主的な活動を誘導・促進する取組を推進していくため、松浦市においてモデル的に、これまで取り組んできたバウンドテニスに加え、いきいき百歳体操を普及定着させるためのリーダー育成研修等を行うアクティブ・エイジングサポート事業に取り組み、住民の集いの場等における普及を図った。令和元年度以降は、引き続き市町とも協議をしながら、地域におけるリーダー育成等を県内全域に広めていく必要がある。

ii) 高齢者の生きがいがづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援

・単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行うことにより、老人クラブ活動の活性化が図られた。また、県老連においては、組織強化のため若手・女性リーダー育成研修会を開催(計54名参加)するとともに、県老連全体で会員増強運動に取り組んでいるが、高齢化による退会等のため全体としては1,773人の減となった。老人クラブ数、参加者数は減少傾向にあり、今後のさらなる高齢化に伴い、深刻化する地域の担い手不足などに対応するため、県老連などが行う若手リーダー等の育成、老人クラブの会員増強運動を支援していく必要がある。

iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援

・生活支援を必要とする方々に対して、元気高齢者による助け合いの仕組みを構築するため、市町及び助け合いの事業を希望している団体等に対し、県内3地区で研修会等を実施し、地域で実働できる団体が2団体結成された。今後ともアドバイザーの派遣等により、助け合いの仕組みづくりを推進していく必要がある。

・平成30年度は、高齢者が自らの知識・技能を活かしていきいきと活躍できる社会の実現を目指して、地域における助け合いや、地域文化の伝承、健康・生きがいがづくり活動など、地域で活躍する高齢者の優れた取組の紹介等を通して、高齢者の社会参加、地域貢献活動について共に考えることにより、広く活動参加に向けた機運の醸成を図るため、「長崎県高齢者いきいきフォーラム」を開催したところ563名が参加した。

・元気高齢者の一層の地域貢献活動の促進を図るには、地域課題等のニーズを収集し高齢者に働きかける取組を推進していく必要がある。そのため、すこやか長寿財団の事業見直しを中心として、老人クラブの活性化も含め、高齢者の社会参加・活躍促進の見直し・再構築を行い、平成30年度からは、高齢者の社会参加促進に向けた、機運醸成を図るための啓発・表彰(高齢者いきいきフォーラム)、地域活動を牽引していく人材の育成(すこやか長寿大学校)、高齢者の活躍の場の情報収集や高齢者団体等への社会参加・活躍の呼びかけ・提案など、地域課題の解決に高齢者の力を活かすための取組を一体的に実施するとともに、全国健康福祉祭ながさき大会での「地域文化伝承館」事業を継承する交流事業にも取り組んでいる。また、すこやか長寿大学校については、修了者の地域活動への参画の促進が課題となっており、引き続きカリキュラム等の改善を続けていく必要がある。

・高齢者の就業・社会参加の機会の拡大を図るため、平成28年9月に関係団体とともに「長崎県生涯現役促進地域連携協議会」を設立し、国の生涯現役促進地域連携事業の採択を受けて、平成29年3月に、高齢者の方々が就業から社会参加まで幅広く気軽に相談できる窓口として開設した「ながさき生涯現役応援センター」(運営主体は協議会)では、個別相談や関係機関の紹介など相談者の希望に即した支援を行うとともに、高齢者向け・事業者向けセミナー、企業訪問等による求人開拓等に取り組む、平成30年3月には、県内全域での事業展開に向けて、佐世保市と諫早市にサテライトを開設した。しかしながら、登録の大多数が一部地域であるなど、ワンストップ窓口である「ながさき生涯現役応援センター」の活動が本土地域、特にセンター及びサテライト周辺地域が大半であり、県内全域に広がっていない状況にあるため、新規登録者数及び進路決定者数について、どちらも、前年度を上回る状況にあるものの、目標を達成できなかった。国委託事業の最終年度となる令和元年度は、市町村とも連携し、サロンや通いの場など、高齢者が集まる場所で効果的に行いながら地域の状況に精通した民生委員などへの周知を図るとともに、高齢者向け出張ミニセミナーの実施にあたっては、離島地域や半島地域などで開催することにより、県内全域での認知度を高めるとともに、地域ニーズ(出口)やターゲットを明確にして、進路決定に結びつけることにより、登録者・進路決定者の増加を図っていく。

4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費	—	—	高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、社会活動の振興を図るため、引き続き、長崎県ねんりんピック開催等への助成を行う必要がある。	現状維持
2	取組項目 ii	老人クラブ等育成事業	—	—	老人クラブの活動は、地域のつながりが希薄化している中、豊かな老後の生活に向け、活力のある高齢社会を構築していくための中核的な役割を担うものであり、今後もリーダー育成など活動費等への助成を継続することにより活動の活性化を図り、生きがいがづくり、健康づくり、介護予防等に寄与していく必要がある。	現状維持
3	取組項目 iii	生涯現役促進地域連携事業費貸付金	—	⑧	令和元年度が、国委託事業の最終年度となる中、国の動向を踏まえながら、市町や、ボランティア・NPO所管部局とも連携しながら、高齢者の就労支援及び社会参加支援に対する施策の再構築を図る必要がある。	改善
4		元気高齢者の活躍促進事業	—	②	すこやか長寿大学校については、地域活動につながるよう内容をさらに検討・見直しを行うとともに、地域課題等のニーズを収集し高齢者に働きかける取組を推進していく必要がある。	改善
5		総合就業支援センター運営等事業	—	③	雇用情勢の改善により支援を必要とする求職者が減少傾向にある一方で、人手不足の状況下で、企業支援のニーズは高まっている。雇用情勢の動向を見ながら、役割や体制の見直しを行う。	改善
6		高齢者等雇用安定対策費	シルバー人材センターの派遣事業の拡大に係る県知事指定を行い、関係機関と連携して、高齢者の就業機会確保の促進を図る。	⑨	高齢者等の雇用の安定に関する法律(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、運営費補助をしている「県シルバー人材センター連合会」に対し、効率的・効果的な県の運営支援を図るため、派遣事業の拡大や業務拡大など環境変化を踏まえた助言・指導を行う。	改善

注:「2. 平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点